

総 則

1. 目 的

大規模地震発生時には迅速な情報の伝達と同時に、錯綜する情報を整理し必要な対策への絞り込みを行ってゆくことが重要になる。そのためには、初動期において被災状況をできるだけ早く把握することが必要になる。

本マニュアルは、大規模地震発生の際の初動期に、迅速に被害概況を把握する上でのリモートセンシング技術の活用の仕組みを解説することを目的としてまとめたものである。

2. 構 成

本マニュアルは、被災時の利用を前提とした実用編とリモートセンシング技術を解説した解説編で構成されている。実用編においては、災害発生から被災地の概況把握までの手順を解説した。また、解説編では、リモートセンシング技術の解説、画像処理手法について解説した。

図1に本マニュアルの構成を示す。

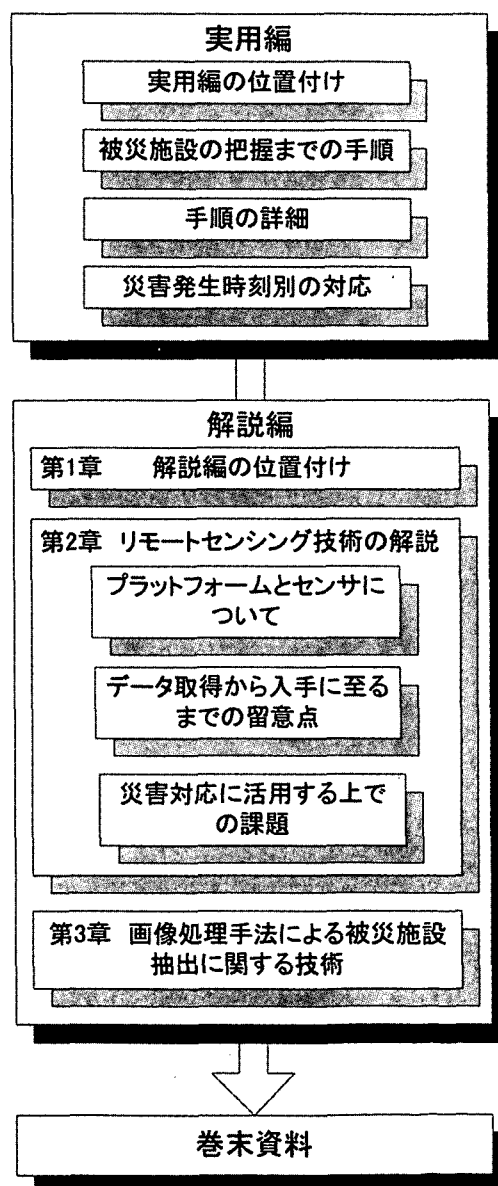


図1 本書の構成